

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	宮城県企画部デジタルみやぎ推進課			代表者名	課長 橋本 崇
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	地域情報化推進班	連絡先電話番号	022-211-2472
担当者役職	主事	担当者氏名	鎌田 周平	連絡先E-mail	
住所	980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	「AI・RPA専門部会」における調査検討事業		
概要	RPAの導入や活用促進に向けた調査検討を目的とし、県と県内29市町村で運営する「AI・RPA専門部会」において、市町村担当者向けの研修を実施し、RPAの導入効果や機運醸成の手法等に関する知識の習得を図るもの。				
支援を求める分野	RPA導入				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年9月12日	支援・助言	13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三輪 修平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザーの所属団体であるつくば市における取組事例、RPAの現況や今後の見通し等について紹介いただいたほか、講演内容に関する当方のニーズを丁寧に聞き取っていただいたため。
アドバイザーへの要望事項	なし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	「AI・RPA専門部会」では、令和4年度から、シナリオの共同利用に向けた実証事業やツールの共同調達に関する検討などの取り組みを行ってきたが、参加市町村の足並みが揃わず、いずれも実現に至っていない状況である。RPA導入済み市町村と未導入市町村との間で、RPAに対する熟度や導入意欲に関して大きな隔たりがあることが課題であり、取り組みの障壁になっているものと認識している。RPA未導入市町村においては、「原課から希望が上がってこない」ことや「導入後の活用方法がイメージできない」ことが共通の課題となっており、導入効果（先進事例）や機運醸成のために必要な原課へのアプローチ、庁内における合意形成の手法等について理解を深めてもらうための取り組みが必要と認識している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	講演内容について事前に打合せし、取り上げる事例や受講者へのアプローチ方法などを明確化する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講演内容に関する事前打合せ	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演で取り上げる事例や受講者へのアプローチ方法などを明確化することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	なし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	なし	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	次回支援において、市町村担当者を対象に、オンラインで講演いただく予定。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	RPA未導入市町村に、RPAに対する理解を深めていただくとともに、導入に向けた検討を進めていただく。このことよって、「AI・RPA専門部会」において、共同調達などに関する調査検討を行うための素地をつくる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

AI・RPA専門部会(講演)に関する打ち合わせ-20240912 0552-1

県内市町村におけるRPA導入状況等について

〈導入状況〉

- ▶ 県内35市町村のうち12市町が導入済み(令和5年9月時点)
- ▶ 導入ツールは、WinActor(8団体)、UiPath(3団体)、Axelute(1団体)等

〈導入済み市町村の現状と課題〉

- ▶ 原課の需要が下火になり、新規導入する業務は減りつつある印象
- ▶ 市町村によっては、シナリオ作成や保守管理を特定の職員しか行うことができず、情シス担当者の負担が増加
- ▶ 求める支援: シナリオ作成・保守管理、効率的な運用などに関する好事例や知見の提供

〈未導入市町村の現状と課題〉

- ▶ 原課からの要望がないことや、導入効果がイメージできないことなどを理由に、導入に向けた検討が進まない
- ▶ 導入意欲はあるものの、原課の協力を得られないために、どの業務に導入するか検証ができない
- ▶ 求める支援: 先進事例、原課へのアプローチや庁内における機運醸成の手法などに関する知見の提供